

第6章．参考資料

6 1．住民アンケート調査票

最初に、あなたご自身についてあてはまるものを選んでください。

F 1 (性別)

- | | |
|-------|-------|
| 1. 男性 | 2. 女性 |
|-------|-------|

F 2 (年齢)

- | | | |
|--------|--------|----------|
| 1. 10代 | 2. 20代 | 3. 30代 |
| 4. 40代 | 5. 50代 | 6. 60代以上 |

F 3 (職業)

- | |
|------------------------|
| 1. 常勤で雇用されている |
| 2. パート・アルバイト |
| 3. 自営業、自由業 |
| 4. 無職である (家事専業) |
| 5. 無職である (4. 以外) |
| 6. 学生 |
| 7. その他 (具体的に : _____) |

F 4 (居住地域)

(1) 都道府県名 (_____)

(2) 市部・町村部

- | | |
|-------|--------|
| 1. 市部 | 2. 町村部 |
|-------|--------|

F 5 あなたが平日または土日祝祭日に自由にできる時間（睡眠や食事など生理的に必要な時間、仕事や通勤・通学、家事など社会生活において義務的に使う時間を除いた時間）は1日あたり平均してどのくらいですか。それぞれ1つ選んでください。

(1) 平日	(2) 土日祝祭日
1. 30分未満	1. 30分未満
2. 30分～1時間未満	2. 30分～1時間未満
3. 1～2時間未満	3. 1～2時間未満
4. 2～3時間未満	4. 2～3時間未満
5. 3～5時間未満	5. 3～5時間未満
6. 5～10時間未満	6. 5～10時間未満
7. 10時間以上	7. 10時間以上

F 6 あなたは結婚していらっしゃいますか（配偶者の方はご健在ですか）。

1. 未婚
2. 既婚・配偶者あり（現在夫または妻がいる）
3. 既婚・配偶者離死別（夫または妻と離別・死別して現在独身）

F 7 あなたにはお子さんがいらっしゃいますか。何人いますか。

1. 1人	2. 2人	3. 3人以上	4. いない
-------	-------	---------	--------

F 8 （お子さんがいる方のみ）末子の年齢についてご記入ください（ 歳）

F 9 あなたのご家族の中には、介護を必要とされている方がいらっしゃいますか。

1. いる	2. いない
-------	--------

【ボランティア活動の事例】

- ・ 公共施設での活動（公民館における託児、博物館の展示説明員など）
- ・ 青少年の健全育成に関する活動（ボーイスカウト・ガールスカウト活動、子ども会など）
- ・ 体育・スポーツ・文化に関する活動（スポーツ・レクリエーション指導、まつり、学校でのクラブ活動における指導など）
- ・ 人々の学習活動に関する指導、助言、運営協力などの活動（料理、英語、書道など）
- ・ 自然・環境保護に関する活動（環境美化、リサイクル活動、牛乳パックの回収など）
- ・ 国際交流（協力）に関する活動（通訳、難民救援、技術援助、留学生支援など）
- ・ 社会福祉に関する活動（老人や障害者などに対する介護・身のまわりの世話・給食、保育など）
- ・ 保健・医療・衛生に関する活動（病院ボランティアなど）
- ・ 交通安全に関する活動（子どもの登下校時の安全監視など）
- ・ 自主防災活動や災害援助活動
- ・ 募金活動、チャリティバザー

ボランティア活動の実態についてお伺いします。

問1 あなたは、最近5年間を振り返ったとき、ボランティア活動に関心を持ったり、具体的に参加したことがありますか(前ページの事例をご参照ください)。次のうち、ご自分の様子に近いものを選んでください(1つに)。

1. 定期的・継続的なボランティア活動(例;月1回の老人ホーム慰問、施設ボランティアとしての登録等)に参加したことがある
2. 単発的なボランティア活動(例;公共施設や地域団体での行事手伝い等)に参加したことがある
3. ボランティア活動に興味・関心を持ったことはあるが、具体的に行ったことはない
4. ボランティア活動について見聞きしたことはあるが、興味・関心を持ったことはない
5. その他

(前問で1、2と答えた方にお尋ねします。)

付問1-1 あなたが、最近5年間に、ボランティア活動に参加した直接的なきっかけはどのようなものですか(あてはまるもの全てに)。

1. 自分の自発的な意思で
2. 家族や親戚に勧められて
3. 友人や知人に勧められて
4. 学校で参加する機会を与えられて
5. 職場で参加する機会を与えられて
6. 自治会や子ども会等地域の団体で参加する機会を与えられて
7. 地域の教育委員会で受講した学級講座から発展した
8. ボランティアに関する研修会、講習会、行事、催しものなどに参加して
9. 新聞、雑誌、ポスターなどの広告を見て
10. 信仰上の理由から
11. その他(具体的に:)

(全ての方にお尋ねします。)

問2 あなたは、今後ボランティア活動への参加に興味・関心がありますか(1つに)

1. 興味・関心があり、具体的にやりたいことがある(継続を含む)
2. 興味・関心があり、なんとなくやりたいことがある
3. 興味・関心はあるが、やりたいことはまだわからない
4. 特に興味・関心はない

(前問で1、2を選んだ方にお尋ねします)

付問2-1 あなたが仮にボランティア活動に参加するとしたら、どの程度力を入れて行いたいですか(1つに)

1. 多少労力を払っても積極的にやりたい
2. できる範囲で無理なく行いたい
3. その他
4. 分からない

付問2-2 現在、興味・関心のあるボランティア活動の内容についてご記入ください。

(全ての方にお尋ねします。)

問3 ボランティア活動に参加する上で、不安や障壁になると思うのはどのようなことですか(3つまでに)

1. とにかく時間がない
2. 他にもしたい余暇活動がある
3. 家族に負担がかかる
4. いっしょに参加する仲間がいない
5. 自分にどのような活動ができるかわからない
6. どのようなボランティア活動の場があるかわからない
7. いったん始めるといい加減なことはできない
8. その他(具体的に:)
9. 特に障壁になることはない

問4 あなたは、以下のア～セについてどの程度ご自分にあてはまると思われますか（それぞれ1つに）

	とてもあてはまる	ややあてはまる	ほとんどあてはまらない	全くあてはまらない
ア) 募金活動やチャリティー活動に協力することがある	1	2	3	4
イ) 例えばお年よりや障害者の方等、支援を必要とされる方とじかに接して、その苦勞や気持ちを聞いたことがある	1	2	3	4
ウ) ボランティア活動を行う方と直（じか）に接して、活動の内容や、活動にかける思い、素晴らしさ等を聞いたことがある。	1	2	3	4
エ) 職場の同僚や身近な友人と社会貢献やボランティア活動について話し合うことがある	1	2	3	4
オ) 家族と社会貢献やボランティア活動について話し合うことがある	1	2	3	4
カ) 職場や身近な友人にボランティア活動を行っている人がいる	1	2	3	4
キ) 家族や親戚にボランティア活動を行っている人がいる	1	2	3	4
ク) 自分が外で困っているとき、見知らぬ人に助けられたことがある	1	2	3	4
ケ) テレビや新聞・雑誌等で、ボランティア活動や社会貢献について見聞きし、関心を持ったことがある	1	2	3	4
コ) 自治体の広報誌等では、ボランティア活動や社会貢献についての情報に興味を持って読む	1	2	3	4
サ) 例えば福祉や環境の問題等、現代の社会的な課題の解決に対して何か役に立ちたいと思うことがある	1	2	3	4
シ) 継続して学んでいること、これはという趣味がある	1	2	3	4
ス) 身に付けた成果を社会の役に立てたいと思う	1	2	3	4
セ) その他（ ）	1	2	3	4

（これまでボランティア活動に参加された方（問1で1、2を選んだ方）及び今後のボランティア活動への参加に興味・関心を持つ方（問2で1、2を選んだ方）にお尋ねします。）

付問4 - 1 問4のア)からセ)の中で、あなたのボランティア活動への参加に影響を与えていることはありますか。記号を5つまで選んでご回答ください。

--	--	--	--	--

ボランティア活動のイメージについてお伺いします

(全ての方にお尋ねします。)

問5 あなたは、「ボランティア活動」に対して、日ごろどのようなお考えをお持ちですか(それぞれ1つに)。

	とてもあてはまる	ややあてはまる	ほとんどあてはまらない	全くあてはまらない
ア) これからの良い社会を創るためにぜひ必要	1	2	3	4
イ) みんなが積極的に参加したほうがよい	1	2	3	4
ウ) 個人の生きがいにつながる	1	2	3	4
エ) これまでにない貴重な経験ができる	1	2	3	4
オ) 自分の力を新しい形で生かすことができる	1	2	3	4
カ) 新しい仲間が多くできる	1	2	3	4
キ) 誰でも受け入れてもらえる	1	2	3	4
ク) 活動が楽しそう	1	2	3	4
ケ) 責任が重く大変そう	1	2	3	4
コ) 何かと苦労が伴うものである	1	2	3	4
サ) 自発的な意思で参加することが重要	1	2	3	4
シ) 誰でも気軽に参加できるものである	1	2	3	4
ス) 何か得意とする知識や技術が必要	1	2	3	4
セ) 時間の余裕のある人が行うこと	1	2	3	4
ソ) 人付き合いに苦労しそう	1	2	3	4
タ) 体力的な自信が必要	1	2	3	4
チ) 経済的な余裕が必要	1	2	3	4
ツ) ボランティアを行う団体は、どこことなく政治色が強い	1	2	3	4
テ) 誰にでもできることが多い	1	2	3	4
ト) 社交的な人が向いている	1	2	3	4
ナ) 自分を犠牲にする精神が必要	1	2	3	4
ニ) 行政等からの押し付けがありそう	1	2	3	4
ヌ) その他()	1	2	3	4

日常生活のなかでの助け合いについてお伺いします

(全ての方にお尋ねします。)

問6 あなたは、以下のア～オについてどの程度ご自分にあてはまると思われますか(それぞれ1つに)。

	とてもあてはまる	ややあてはまる	ほとんどあてはまらない	全くあてはまらない
ア) 外で何かに困っている人を見たとき、声をかけたり手助けしたいと思う(例;高齢者や妊婦に席を譲る、棚荷物の上げ下げの援助、道案内、車椅子の方への援助等)	1	2	3	4
イ) 外で何かに困っている人を見たとき、実際に声をかけたり手助けしたりする	1	2	3	4
ウ) 困っている人や弱者を助けるのは、社会人として当たり前のことと思う	1	2	3	4
エ) 近隣の友人・知人と、必要なときに互いに助けあいたいと思う(例えば子どもを預かる、留守中郵便物の受取、等)	1	2	3	4
オ) 近隣の友人・知人と、必要なときに実際に助けあっている	1	2	3	4

問7 例えば、高齢者や妊婦の方に席を譲ったり、棚荷物の上げ下げの援助をすること、外国人の方への道案内や車椅子の方への援助など、「くらしの中の助け合い」のことを「ちょっとしたボランティア」=「略称 ちょぼら」ということがあります(これは現在、公共広告としてテレビ等でも放送されています)。あなたは、このことを知っていましたか(1つに)。

1. 言葉も意味も知っていた
2. 言葉は見聞きしたことはある
3. 今まで知らなかった

(これまでボランティア活動のご経験のある方、または、現在興味関心を持っておられる方にお尋ねします。)

問8 「くらしの中の助け合い(ちょっとしたボランティア)」を実践することが、ボランティア活動への関心の高まりにつながるのではないかという考え方がありますが、あなた自身はこの意見についてどのように思われますか(1つに)。また、その理由をお聞かせください。

1. 大いに思う
2. どちらかといえば思う
3. あまり思わない
4. まったく思わない

(理由)

--

(全ての方にお尋ねします。)

問9 あなたは、「暮らしの中の助け合い」を行いにくくする要因はどのようなものと思いますか(2つまでに)

1. 周囲の目が何となく気になる 2. 声をかけた相手が、どう思うか気になる 3. 初めての人には、声をかけづらい 4. 自分にも余裕がなくやり過ぎしてしまう 5. その他(具体的に:)
--

問10 ボランティア活動を「皆が参加したくなる魅力あるものにする」ためには、どのようなことが必要だと思いますか(5つまでに)

1. 個人だけで気軽に参加し活動できるようになること 2. 通勤・通学の行き帰りなど日常生活の中で無理なくできること 3. いっしょに参加する仲間がいること 4. 一人ひとりの提案や考えが活かされること 5. 個人の様々な能力を生かすボランティアの場(例;アイデア提供だけのボランティア、ポスター作成だけのボランティア等)が開発されること 6. 人間づきあいに煩わされないこと 7. 特別の知識・技能がなくてもできること 8. とにかく楽しいこと 9. 仕事で実につけた知識・技能が生かせること 10. 多少の謝礼や特典が得られること 11. ボランティア活動を通じて新しい知識や技能が身につくこと 12. 社会的に尊敬されるようになること 13. その他(具体的に:)
--

問1 1 ボランティア活動に対する社会的関心を高めるために、どのような環境づくりが必要
と
思いますか(3つまでに)

1. 日ごろの助け合い(ちょぼら)の意義や重要性をもっと PR する
2. 社会的課題解決に対する市民参加の重要性をもっと PR する
3. ボランティア活動の意義や重要性をもっと PR する
4. ボランティアの魅力や楽しさについてもっと PR する
5. NPO(市民が主体となる非営利の事業体)の役割をもっと高める
6. 企業の社会貢献やボランティア休暇などの重要性が職場でもっと重視される
7. ボランティア活動等の社会的活動が職場や学校できちんと評価される
8. 身近な地域で活動する市民団体の活躍についてもっと知らせる
9. 学校教育や社会教育の場でもっと日ごろの助け合いやボランティアについての教育を行う
10. その他(具体的に:)

問1 2 地域でどのようなサービスを充実すれば、今よりもボランティア活動に参加しやすくなる
と
思いますか(2つまでに)

1. 身近に、自分にボランティア活動が適しているか相談にのってくれる人がいる
2. 自分に適したボランティア活動に関する情報が手軽に収集できる
3. 自分が興味を持ったボランティア団体の活動詳細やリーダーを気軽に紹介してくれる
4. ボランティア活動への円滑な参加に向けた研修や、試行体験の場を気軽に提供してくれる
5. その他(具体的に:)

問1 3 その他、日常生活での助け合いやボランティア活動が気軽にできるような雰囲気づくりに
向けて、ご意見がございましたらご自由にお書きください。

お忙しいところご協力いただきまして、誠にありがとうございました。